

1 基本情報

施設名称	大阪市立生涯学習センター
施設所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、生涯学習の振興を図ることにより、市民の文化と教養を高め、市民生活の向上に寄与することを目的とする。
業務の概要	(１)生涯学習事業に関する業務 (２)施設の使用許可に関する業務 (３)建物及び附属設備の維持保全に関する業務 (４)施設の総合管理に関する業務 (５)施設の安全確保に関する業務
成果指標	貸室利用者満足度／事業参加者満足度／貸室利用率
数値目標	貸室利用者満足度：80％以上／事業参加者満足度：80％以上／貸室利用率：各館70％以上
指定管理者名	大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体
指定期間	令和２年４月1日～令和７年３月31日
評価対象期間	令和６年４月1日～令和７年３月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室利用者満足度	事業参加者満足度	利用率
数値目標	80％以上	80％以上	各館70％以上
年度実績	98.4%	92.7%	平均67.5%
達成率	123.0%	115.9%	96.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	444,678	420,762	23,916
稼働率	67.5%	65.8%	1.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	155,485,735	168,220,057	24,014,375	令和５年５月に新型コロナウイルス感染症が２類相当から５類に移行され、少しずつ利用者が戻ってきてはいるものの、昨年に続き利用回復がされていない現状である。そのため、施設利用率が目標値に達しておらず、利用料金収入が減となり計画額より不足となっている。
	計画	131,471,360	132,219,160		
利用料金収入	実績	130,595,600	128,059,560	-32,265,500	
	計画	162,861,100	162,113,300		
その他収入 （自主事業収入）	実績	37,004,693	31,869,784	1,820,493	・自主事業収入の増 ・漏水補償収入の増
	計画	35,184,200	35,184,200		
合計	実績	323,086,028	328,149,401	-6,430,632	
	計画	329,516,660	329,516,660		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	177,877,694	176,513,908	-221,766	・効率的な業務執行体制の構築
	計画	178,099,460	178,099,460		
物件費	実績	119,497,356	130,737,154	-5,513,044	・事業実施手法の工夫による支出の減
	計画	125,010,400	125,010,400		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	25,710,978	20,898,339	-695,822	・事業実施手法の工夫による支出の減
	計画	26,406,800	26,406,800		
合計	実績	323,086,028	328,149,401	-6,430,632	
	計画	329,516,660	329,516,660		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室利用者満足度80％以上	123.0%	S	貸室利用者アンケートにおいて、施設利用の満足度に関する設問に「満足」「おおむね満足」と回答した割合は合わせて98.4％
事業参加者満足度80％以上	115.9%	A	事業参加者アンケートにおいて、事業の満足度に関する設問に「大変良かった」「良かった」と回答した割合は合わせて92.7％
貸室利用率：各館70％以上	96.4%	B	コロナの影響により利用率が減少し、3館平均年間利用率は67.5％で、成果指標70％には達しなかったが、令和5年度より1.7ポイント上昇した。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
コロナの影響を理由とする利用率減による減収のため、施設利用向上にむけた広報強化策や、利用者サービスの向上の提案を行ってもらうことで、新たな利用者層の開拓など利用率増に向けた様々な工夫を試みている。また、利用率アップに向けた打ち合わせを教育委員会と行う等、利用者増に向けた取り組みを継続して行っている。	B	令和5年に引き続き令和6年度も、利用率の回復カーブは少しづつ伸びているものの、鈍化傾向のままである。そのため、令和6年度も施設利用の減少による収支差を基本協定書の取扱いに基づき市費で補填をした。補填額分については利用率の回復に努め、前年度（令和5年度）に比べ11,986,522円減となっている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	貸室利用者アンケートでは、職員の対応は「良い」「おおむね良い」が合わせて99.7％と、利用者に対する平等・公平な対応がうかがえ、平等利用の確保が適切に行われている。
事業計画の実施状況	S	事業計画書及び協定書、仕様書に沿った事業実施が概ね行われており、特に利用率アップに向けた広報活動を充実させ、令和5年度より1.7％上昇した。また、令和6年度に職員が企画した「ウメダハンドメイドマルシェ」は市民からの反響も大きく、生涯学習センターを知って貰う良い機会になったことは評価できる。
施設の有効利用	S	NPO・市民活動助成をはじめ各機関、大学・企業との連携に取組み、施設機能を活かした事業が適切に実施されている。
社会的責任・市の施策との整合性	S	・令和6年度から障害者差別解消法が改正され、事業者の合理的配慮の提供が義務化されたことを受け、センターではこれまでも利用者から依頼を受けた場合は対応を行ってきたが、利用者の意識が変わったこともあり、これまで以上の対応を行ってきたことは評価できる。

5 利用者ニーズ・満足度等

【利用者ニーズ・満足度等の把握】
・貸室利用者アンケート：11月に館ごとに実施。（各館の有効回答数： 総合：330、阿倍野：157、難波：189 計676）
事業参加者アンケート：事業ごとに実施。（各館の有効回答数 3館合計10,705）
・貸室利用者アンケートでは、施設利用の満足度は「満足」「おおむね満足」が合わせて98.4％、事業参加者アンケートでは、事業の満足度は「大変良かった」「良かった」が合わせて92.7％と、顧客満足度の高い安定的なサービスが提供されている。

6 外部専門家意見

・動画配信について、コンテンツが累積していくことで効果が高まることが期待できる。また、動画コンテンツから、センターのSNSなどのツールへ広がるような連携を検討してみては。
・これからの社会教育は若い世代をつかむこと、そして、社会教育に参加する人が活動することによって収益があがる仕組みにしていく必要がある。
・お金を出しても参加したいと思える収益事業を考えていく必要があるのではないか。
・施設の設備の老朽化が進む中で、職員の対応が施設の高い満足度につながっているのでは。（施設使用者アンケート結果より）
・館内の案内表示を分かりやすく、おしゃれにしてみては（「案内表示は分かりやすいですか」のアンケート結果より）

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	利用者の満足度においては十分な効果が得られている。利用率の回復に向けて、新規利用者層の開拓や事業の工夫に継続して注力してほしい。
市費の縮減	B	利用率回復が全国的に緩やかな状況のなか、利用率アップに積極的に取り組んでいる。結果的に市費で補填を行ったが、支出の削減に取り組んだことにより、昨年度より縮減は図られている。更なる市費の縮減に取り組んでもらいたい。
管理運営の履行状況	S	・4項目全てがS評価になっており、昨年度起こった事務処理誤りについて、防止策の効果が得られていることは評価できる。 ・新たな事業への取り組みが功を奏している事は高く評価したい。 ・今後も市民が安全・安心して利用できるよう継続して管理運営に尽力いただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	S	成果指標、市費の縮減の項目ともにマイナス要素はコロナを起因とした利用率低下から来るものであり、その他の項目は、全て期待を上回る高い評価になっているため、S評価としたい。